



石川町の旅館に避難していた広野町民は地元の安藤敬男さんから「一緒にラジオ体操を」と声を掛けられ毎日続けていた。「仮設住宅に移っても続けて…」と安藤さんからCDを譲り受けた幸森正男さんと松本しょう子さん。いわき市中央台の仮設住宅の近隣住民に声をかけ毎朝6時30分から50人ほどが集まりラジオ体操を続けている=写真。凜とした朝陽が注ぐ中の楽しい一時。新年を迎え、今日もラジオ体操が新たな交流の輪を拓いている。

# 希望をつなぐラジオ体操の輪

## ふるさと絆情報ステーション 【設置箇所一覧】

- ヨークベニマル富久山店 (郡山市)
  - ダイユーエイト黒岩店 (福島市)
  - リオンドール神明通り店 (会津若松市)
  - ヨークベニマル谷川瀬店 (いわき市)
  - ヨークベニマル安積町店 (郡山市)
  - ヨークベニマル野田町店 (福島市)
  - COPE BESTA にいでら店 (会津若松市)
  - イオンいわき店 (いわき市)
  - コープマートやのめ店 (福島市)
  - イオン郡山フェスタ店 (郡山市)
  - ヨークベニマル大原店 (いわき市)
- ※開設順

県の「ふるさと絆情報ステーション」が県内各所でオープンしている。東日本大震災および福島第一原発事故の影響で避難している

## 県の「ふるさと絆情報ステーション」 県内各所でオープン



人々に、様々な情報を提供する場として活用してもらおうが目的だ。いわき市のヨークベニマル谷川瀬店は昨年十二月一日(木)にスタートした写真。誰かに会

## ▼久しぶりの再開を果たした同級生たち



読者のコーナー

## 大熊の中学同級生ら再会

昨年12月10日(土)、11日(日)に、神奈川県三浦海岸に昭和46年度卒大野中同級生27人が顔を揃えた。東日本大震災と福島第一原発事故を境に大熊町から全国に散っていた同級生たちだ。中には39年ぶりに再会した仲間もいて、話は夜通し尽きなかった。絆を強めた2日間だった。【大熊町出身の片倉博美さん(54)投稿 現住所は神奈川県川崎市】

## 絆づくり支援センター ご案内

仮設住宅でのより良い暮らしを私たちがサポートします! 困りごとがございましたら、お電話・お便りください。皆さんの声をお待ちしています!

### <各地域の絆づくり支援センター>

- 県北地域 絆づくり支援センター  
☎ 024-573-8425  
〒960-8141 福島市渡利字鳥谷下町 67-1
- 県中地域 絆づくり支援センター  
☎ 024-944-0083  
〒963-8835 郡山市小原田 2-19-19
- 県南地域 絆づくり支援センター  
☎ 0248-23-8909  
〒961-0905 白河市本町 2
- 会津・南会津地域 絆づくり支援センター  
☎ 0242-24-8862  
〒965-0009 会津若松市八角町 13-45
- 相双地域 絆づくり支援センター  
☎ 0244-24-0222  
〒975-0034 南相馬市原町区上洪佐字原田 94-4
- いわき地域 絆づくり支援センター  
☎ 0246-35-1425  
〒970-8026 いわき市平字愛谷町一丁目4番地 10 桂ビル1階



絆新聞編集室では各種情報を定期的にお知らせする「絆新聞(携帯版)」を配信しています。本紙が月刊紙という性格上、タイムリーにイベント情報などをお知らせするの

## 「絆新聞(携帯版)」配信中

設住宅での催し物、尋ね人などどんな事でも結構です、お知らせください。ご利用いただくには、掲載されているQRコードからサイトへアクセスし、メールアドレスを登録してください。入会費などはかかりません(携帯電話会社とご契約の通信費はかかります)。登録されたメールアドレスは、配信以外の目的で使用することはありません。

絆新聞編集室では読者の皆様からの投稿を募集しています。氏名、年齢、住所、避難先の現住所、内容を1000字程度にまとめた文章、写真(デジタルデータが望ましい)でも可、できる限り笑顔の写真をお願いいたします。問い合わせが必要な場合に連絡がとれる電話番号、以上をメールもしくは郵送でお寄せください。締切

り紙面の都合上、掲載となるかはお約束いたしかねます。また、内容によっては掲載できない場合もあります。予めご了承ください。

〒963-8835  
福島県郡山市小原田 2-19-19  
絆新聞編集室

✉ kizuna-fp@utsukushi-ma-np.jp (1面にQRコードがあります)

「読者のコーナー」投稿募集!

購読のご案内

絆新聞は、市町村の広報紙に同封して配布し、仮設住宅の集会所やふるさと絆情報ステーションなどでも配布しています。また、次の方法で郵送による購読を受付しています。送り先の住所・氏名、希望する号数を明記し、下記住所まで、90円切手をお送りください。(原則として、お一人一部とさせていただきます。)

〒963-8835 福島県郡山市小原田 2-19-19  
NPO 法人うつくしま NPO ネットワーク  
絆新聞編集室購読係

編集後記

新年と言えは初夢ですが、震災から約十ヶ月たった今でもよく見る夢があります。給水所で四時間、食料を求めスーパードで三時間、ガソリンを求めて五時間…数え切れないほどの行列に並んだあの異常な日々です。ましてや震災で大切な人を亡くした、家財を失った、原発事故で避難せざるを得ず生活基盤を壊された…そんな方々の心の悲しみの淵は計り知れぬ深さで、私の見る夢など一陣の風に舞う埃の一つにも及ばないでしょう。取材の折「まるで果てしない悪夢の中にいるようだ」と話された方も…。でも夢の後には必ず朝が訪れるはず。このページに掲載したラジオ体操の写真は「今年の福島の年明けを象徴している」と思います。目覚めた後の希望の輪：富士山でも鷹でもナスビでも望み通りの夢を見て、誰もが穏やかな朝を迎える、そんな日が早く来てほしいと願うばかりです。(義)